

公益財団法人

# りそなアジア・オセアニア財団

第13回（2022年度）

## 事業報告書

---

2022年4月1日から2023年3月31日まで

# I. 事業概況

2022年4月1日から2023年3月31日までの当年度は、公益財団法人化後<sup>※</sup>実質12年目の事業年度である。（<sup>※</sup>2011年3月31日が公益法人移行日の為形式上13年目であり、報告書も第13回としている。）今年度も新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動規制の影響を受ける中での活動となったが、計画段階において影響範囲がある程度想定できていたため、事業活動は、ほぼ計画どおり遂行することができた。但し、助成事業ならびに環境事業においては、海外渡航不能による活動期間の延長や活動内容の変更などを実施している。各事業の詳細は以下のとおりである。

## 1. セミナー事業

コロナ禍におけるセミナー開催として、前年度同様大阪府が定めるイベント開催ルールに沿った形での開催として参加者人数を絞り、オンライン配信も行うハイブリッド形式で予定通り5回実施した。また、オンライン配信映像は財団YouTubeチャンネルで一定期間アーカイブ配信を実施した。会場合計参加者数は364名、開催後1ヶ月時点のYouTubeチャンネル視聴合計回数は2397回となった。各セミナーの詳細は、次の通りである。

### (1) グローバルビジネスを再考する～混沌とする国際情勢、日本企業の活路は～

2022年7月28日 於：ウェスティンホテル大阪2階 オリアーナ

会場出席者：71名 YouTube視聴回数：1,184回（1ヶ月後）<sup>※ライブ配信176+アークイブ8/4～8/28</sup>

第1部 「エレクトロニクスで社会課題を解決し、グローバルに認知される企業へ」

講師：ローム株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 CEO 松本 功 氏

第2部 「新冷戦に日本はどのように向き合うか」

講師：(株)ニッセイ基礎研究所 常務理事・チーフエコノミスト 矢嶋 康次 氏

パネルディスカッション

パネリスト：松本 功氏、矢嶋 康次氏

コーディネーター：黒瀬 浩一氏 りそなアセットマネジメント(株)

チーフ・ストラテジスト/チーフ・エコノミスト

### (2) ベトナムのビジネス最新事情～ベトナムとのパートナーシップの重要性～

2022年10月19日 於：ウェスティンホテル大阪2階 オリアーナ

会場出席者：82名 YouTube視聴回数：277回（1ヶ月後）<sup>※ライブ配信166+アークイブ10/27～11/19</sup>

第1部 「共英製鋼のベトナム事業とグローバル戦略」

講師：共英製鋼株式会社 代表取締役社長 廣富 靖以 氏

第2部 「『ベトナムが日本にとって重要になった3つの理由』

—国際秩序の大変革期の中で—

講師：前駐ベトナム特命全権大使 梅田 邦夫 氏

パネルディスカッション

パネリスト：廣富 靖以氏、梅田 邦夫氏

コーディネーター：藤田 麻衣氏 日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所

地域研究センター・東南アジアⅡ研究部グループ長

### (3) 2023年世界の政治・経済動向を展望する

2023年1月23日 於：ウェスティンホテル大阪2階 オリアーナ

会場出席者：71名 YouTube視聴回数：338回（1ヶ月後）<sup>※ライブ配信189+アークイブ1/27～2/23</sup>

第1部 「国際情勢と日本」

講師：前駐米大使／外務省顧問／早稲田大学 特命教授 杉山 晋輔 氏  
第2部 「2023年の世界の金融経済動向」

講師：名古屋商科大学大学院 教授

ピクテ・ジャパン(株)シニア・フェロー 大槻 奈那 氏

フォローセッション

講演者：杉山 晋輔氏、大槻 奈那氏

ファシリテーター：小坂 肇（財団理事長）

(4) 未来への扉、万博まであと2年～大阪・関西の魅力を世界へどう伝えるか～

2023年3月14日 於：ウェスティンホテル大阪2階 オリアーナ

会場出席者：80名 YouTube視聴回数：280回（1ヶ月後）※ライブ配信162+アーカイブ3/16～4/14

第1部 「感性価値創造への挑戦」

講師：パナソニックホールディングス株式会社 参与 小川 理子 氏

第2部 「2025年万博を活かした大阪・関西、そして日本の

発展のための取組み～万博前と万博後も視野に入れて～」

講師：政府代表／特命全権大使（関西担当） 姫野 勉 氏

パネルディスカッション

パネリスト：小川 理子氏、姫野 勉氏

コーディネーター：廣常 啓一氏（株）新産業文化創出研究所 代表取締役所長（財団理事）

(5) 第10回環境シンポジウム

ゴリラとゾウから学ぶ！～生物多様性とビジネスのこれから～

2022年12月9日 於：ウェスティンホテル大阪4階 花梨

会場出席者：60名 YouTube視聴回数：318回（1ヶ月後）※ライブ配信163+アーカイブ12/15～1/9

基調講演 「ゴリラの社会は生物多様性によってどう変動するか？」

講師：総合地球環境学研究所 所長 山極 壽一氏

基調講演 「生物多様性と金融～長期投資家からみた期待と課題～」

講師：りそなアセットマネジメント株式会社執行役員 松原 稔 氏

事業発表 「ゾウと子どもとカップ麺」

発表：ボルネオ保全トラスト・ジャパン 理事 森井 真理子氏

基調講演 「地球市民宣言と環境」

講師：サラヤ株式会社 代表取締役社長 更家 悠介氏

パネルディスカッション

パネリスト：山極 壽一氏、更家 悠介氏、松原 稔氏

コーディネーター：阿部 健一氏 総合地球環境学研究所教授（財団環境事業選考委員長）

## 2. 助成事業（アジア・オセアニア研究助成）

2023年度の助成プログラムとして、「調査研究助成」「国際学術交流助成」「出版助成」を2022年5月16日より7月29日まで公募し、合計135件の応募を得た。選考委員による選考の結果、計32件（継続7件含む）30,690千円の助成を理事会（1月10日）で決定した。助成金は3月28日に交付（交付手続未了者除く）。各助成の内容は、次の通りである。

### (1) 調査研究助成

アジア・オセアニア諸国・地域に関する人文・社会科学分野（社会、文化、歴史、政治、経済等）において調査研究活動を行う若手研究者への助成。募集にあたりコロナの影響が心配され

たが、80件の応募（前年比21件増）を得ることができた。

選考の結果24件20,790千円（内継続案件7件6,080千円）の助成を決定した。

## （2）国際学術交流助成

我が国とアジア・オセアニア諸国との学術交流促進を目的とした人文・社会科学分野の国際シンポジウム・国際会議の開催に対する助成であり、5件の応募を受けた。

選考の結果2件3,200千円の助成を決定した。

## （3）出版助成

アジア・オセアニア諸国・地域の人文・社会科学分野（社会、文化、歴史、政治、経済等）に関する研究成果を出版・広報する者への助成であり、50件の応募を受けた。

選考の結果6件6,700千円の助成を決定した。

なお、進行中の調査研究活動において、コロナの影響で海外渡航できなかった者に対しては活動期間を1年間延長し、渡航費用の高騰により調査資金が不足する者については、助成金の追加支給を行った。また、国際学術交流活動においても、一部コロナの影響を鑑み活動期間の1年延長対応を行った。

## 3. 環境事業

アジア・オセアニア地域における自然環境保護活動への支援事業として、「2023年度りそな環境助成」を2022年5月16日より8月31日まで公募し、新規案件として9件の応募を得た。選考委員による選考の結果、新規案件4件、継続案件7件、合計11件10,920千円の助成を理事会（1月10日）で決定した。助成金は3月28日に交付。

なお、進行中の事業1件について、コロナの影響により活動期間を半年間延長した。

環境事業助成者の交流会として、第5回環境ワークショップを2022年9月14日にオンラインで開催し、生物多様性をテーマとしたディスカッションを行った。（13団体、16名が参加）

選考委員による環境事業会議を2023年1月16日に開催。これまで支援した46事業の総括と今後の事業運営の方向性について議論を行った。

## II. 庶務事項

### 1. 理事会

#### （1）2022年度第1回理事会

開催日：2022年5月23日（於：りそな銀行 大阪本社ビル 3階会議室）

議案：1. 2021年度計算書類・事業報告の承認

2. 2022年度定時評議員会開催の承認

報告事項：1. 各事業の運営状況について

2. 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

以上、議案1及び議案2は可決承認された。

#### （2）理事会みなし決議（書面による開催）

議案：「理事長及び専務理事の選任」の承認

書面による同意みなし決裁日 2022年6月7日

#### （3）理事会みなし決議（書面による開催）

議案：「2022年度特定資産運用方針の一部変更」の承認

書面による同意みなし決裁日 2022年8月30日

- (4) 理事会みなし決議（電磁的記録による開催）  
議案： 1. 「2023年度アジア・オセアニア研究助成選考案」の承認  
2. 「2023年度りそな環境助成選考案」の承認  
電磁的記録による同意みなし決裁日 2023年1月10日
- (5) 2022年度第2回理事会  
開催日： 2023年3月2日（於：りそな銀行 大阪本社ビル 3階会議室）  
議案： 1. 選考委員選任の承認  
2. りそな銀行からの寄附金受入の承認  
3. 2023年度事業計画、事業予算の承認  
4. 2023年度特定資産運用方針の承認  
報告事項： 1. 今年度の業務実施状況概要説明  
2. 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告  
以上、議案1～議案4まで可決承認された。

## 2. 評議員会

- (1) 2022年度定時評議員会  
開催日： 2022年6月7日（於：ウェスティンホテル大阪 4階 蘭の間）  
議案： 1. 2021年度計算書類・事業報告の承認  
2. 評議員5名選任  
3. 理事6名選任  
4. 監事2名選任

## 3. 選考委員会

- (1) 助成事業選考委員会
- ① 1次選考  
2022年10月6日 メール会議実施  
2022年10月11日 1次選考合格案件決定
- ② 2次選考  
2022年12月19日（於：シェラトンホテル東京 地下2階志摩の間）  
議案： 1. 2023年度アジア・オセアニア研究助成案件選考  
2. 次年度以降の助成プログラム・選考について  
以上、第1号議案にて採択案が決定され、第2号議案の議論内容は次年度事業計画へ反映。
- (2) 環境事業選考委員会
- ① 1次選考  
2022年10月13日 メール（書面）会議実施  
2022年10月20日 1次選考合格案件決定
- ② 2次選考  
2022年11月15日 オンライン会議開催  
1次合格者7名への面談による質疑応答（各20分）及び新規案件採択協議
- ③ 最終選考  
2022年12月26日 メール（書面）会議実施  
2022年12月29日 2023年度りそな環境助成採択案決定

#### 4. 評議員・役員等の異動

- (1) 2022年6月7日評議員の津田和明氏、野村明雄氏、長堀守弘氏の3名が任期満了で退任し、本荘武宏氏、福本ともみ氏、藤岡実佐子氏の3名が新たに評議員へ就任した。

#### 5. 登記・届出事項

##### (1) 登記事項

2022年6月9日 評議員交替に伴う登記を行った。

##### (2) 内閣府への届出等

2022年6月8日 事業報告等の提出を行った。

2022年6月9日 補正資料追加の届出を行った。

2022年6月16日 評議員 任期満了交代の変更届出を行った。

2023年3月22日 2023年度事業計画書等の提出を行った。

#### 6. その他

- (1) 2022年11月22日より11月25日まで、理事長と専務理事が環境助成事業視察のため、カンボジアへ出張した。(下田寛典氏、小関皆乎氏の2事業を視察)
- (2) 2023年3月16日、りそな銀行より公益事業目的として45百万円の追加出捐を受けた。

以上

セミナー事業実施状況(2022年度)

		第43回	第44回	第45回	第46回					
開催日		2022年7月28日(木)	2022年10月19日(水)	2023年1月23日(月)	2023年3月14日(火)					
時間		14:30~17:30	14:30~17:30	14:30~17:30	14:30~17:30					
場所		ウェスティンホテル大阪 2階 オリアーナ	ウェスティンホテル大阪 2階 オリアーナ	ウェスティンホテル大阪 2階 オリアーナ	ウェスティンホテル大阪 2階 オリアーナ					
テーマ		グローバルビジネスを再考する ～混沌とする国際情勢、日本企業の活路は～	ベトナムのビジネス最新事情 ～ベトナムとのパートナーシップの重要性～	2023年世界の政治・経済動向を展望する	未来への扉、万博まであと2年 ～大阪・関西の魅力を世界へどう伝えるか～					
基調講演 タイトル 講師		<p>&lt;第1部:講演&gt; 「エレクトロニクスで社会課題を解決し、グローバルに認知される企業へ」 &lt;講師&gt;ローム株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 CEO 松本 功 氏</p>	<p>&lt;第1部:講演&gt; 「共英製鋼のベトナム事業とグローバル戦略」 &lt;講師&gt;共英製鋼株式会社 代表取締役社長 廣富 靖以 氏</p>	<p>&lt;第1部:講演&gt; 「国際情勢と日本」 &lt;講師&gt;前駐米大使/外務省顧問/早稲田大学 特命教授 杉山 晋輔 氏</p>	<p>&lt;第1部:講演&gt; 「感性価値創造への挑戦」 &lt;講師&gt;パナソニックホールディングス株式会社 参与/ ジャズピアニスト 小川 理子 氏</p>					
		<p>&lt;第2部:講演&gt; 「新冷戦に日本はどう向き合うか」 &lt;講師&gt;株式会社ニッセイ基礎研究所 常務理事/チーフエコノミスト 矢嶋 康次 氏</p>	<p>&lt;第2部:講演&gt; 「『ベトナムが日本にとって重要になった3つの理由』 —国際秩序の大変革期の中で—」 &lt;講師&gt;前駐ベトナム特命全権大使 梅田 邦夫 氏</p>	<p>&lt;第2部:講演&gt; 「2023年の世界の金融経済動向」 &lt;講師&gt;名古屋商科大学大学院 教授/ ピクテ・ジャパン株式会社 シニア・フェロー 大槻 奈那 氏</p>	<p>&lt;第2部:講演&gt; 「2025年万博を活かした大阪・関西、そして日本の発展のための取組み ～万博前と万博後も視野に入れて～」 &lt;講師&gt;政府代表/特命全権大使(関西担当) 姫野 勉 氏</p>					
		<p>&lt;第3部:パネルディスカッション&gt; パネリスト:松本 功 氏、矢嶋 康次 氏 コーディネーター:黒瀬 浩一 氏 (リソナアセットマネジメント株式会社 チーフ・ストラテジスト/チーフ・エコノミスト)</p>	<p>&lt;第3部:パネルディスカッション&gt; パネリスト:廣富 靖以 氏、梅田 邦夫 氏 コーディネーター:藤田 麻衣 氏 (日本貿易振興機構(ジェトロ) アジア経済研究所 地域研究センター・東南アジアⅡ研究グループ長)</p>	<p>&lt;第3部:フォローセッション&gt; 講演者:杉山 晋輔 氏、大槻 奈那 氏 ファシリテーター:小坂 肇 (財団理事長/株式会社奥村組 副社長執行役員)</p>	<p>&lt;第3部:パネルディスカッション&gt; 講演者:小川 理子 氏、姫野 勉 氏 コーディネーター:廣富 啓一 氏 (財団理事/株式会社新産業文化創出研究所 代表取締役所長)</p>					
申込者数		103名(会場) ※会場のみ申込受付	101名(会場) ※会場のみ申込受付	91名(会場) ※会場のみ申込受付	94名(会場) ※会場のみ申込受付					
出席者数		71名(会場) / 176回(Live視聴のみ)	82名(会場) / 166回(Live視聴のみ)	71名(会場) / 189回(Live視聴のみ)	80名(会場) / 162回(Live視聴のみ)					
アンケート回答枚数		45名(会場) / 22名(web)	57名(会場) / 21名(web)	55名(会場) / 27名(web)	53名(会場) / 16名(web)					
アンケート回答者業種		会社員・団体職員	43.3%	会社員・団体職員	44.9%	会社員・団体職員	51.2%	会社員・団体職員	50.7%	
		自営業・自由業	20.9%	会社・団体役員	26.9%	会社・団体役員	26.8%	会社・団体役員	23.2%	
		会社・団体役員	16.4%	自営業・自由業	11.5%	自営業・自由業	13.4%	自営業・自由業	8.7%	
		無職	9.0%	公務員	3.8%	無職	2.4%	無職	7.2%	
		学校関係者	4.5%	専業主婦(夫)	2.6%	公務員	1.2%	公務員	0.0%	
		公務員	3.0%	無職	2.6%	学校関係者	1.2%	学校関係者	0.0%	
		学生	0.0%	学校関係者	1.3%	学生	0.0%	専業主婦(夫)	0.0%	
		専業主婦(夫)	0.0%	学生	0.0%	専業主婦(夫)	0.0%	学生	0.0%	
		その他	3.0%	その他	6.4%	その他	3.7%	その他	10.1%	
		第1部 評価		印象	非常に役に立った	40.0%	非常に役に立った	48.7%	非常に役に立った	58.0%
役に立った	53.8%			役に立った	42.3%	役に立った	38.3%	役に立った	47.8%	
あまり役に立たなかった	4.6%			あまり役に立たなかった	9.0%	あまり役に立たなかった	2.5%	あまり役に立たなかった	3.0%	
役に立たなかった	1.5%			役に立たなかった	0.0%	役に立たなかった	1.2%	役に立たなかった	1.5%	
具体的感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本における半導体トップメーカーの戦略と企業理念との関係が良く分かりました</li> <li>世界における半導体の将来に言及されており、大変勉強になりました</li> <li>創業者佐藤研一郎さんのアントレプレナーシップをよき継承されている印象を持ちました</li> <li>東洋電機製作所の創業から65周年記念して、更なる高み、株値上昇を期待</li> <li>半導体市場に関する分析、データが大変役に立った(特に半導体不足関係)</li> <li>自社の生産拠点をどう配置しなおすか、等の他国企業との関係を聞き取った</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル・ニッチの開拓者となったチャレンジ精神、ベトナムへの利他の心と敬意</li> <li>中国を念頭に置いたベトナムの立ち位置や、技能実習生制度の問題整理ができた</li> <li>いかに日本の技術を世界に広めようとして尽力されてきたかよく分かりました</li> <li>ベトナム進出への先代の想い、魅力・課題など示唆に富んだ講演だった</li> <li>ローカルでの進出の戦略や具体例、異文化との関わり方なども少し聞きたかった</li> <li>ベトナム進出における勘所のような内容を期待していましたが少し異なる内容だった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアによるウクライナ侵攻の背景を歴史的な経緯を含め解説いただきよく分かった</li> <li>昨年の激動した地政学リスクの背景について、わかりやすく講演いただいた</li> <li>「日本の反撃能力を持つ」はマスコミに問題があり、本来の意図が伝わっていない</li> <li>今回、講演内容を割愛された話しについても機会があれば是非拝聴したい</li> <li>実際の外交に関する立場だった方の講演が、非常に具体的に迫力があつた</li> <li>目新しい内容がなかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いのち輝かせる人生、解き放つ、STEAMは良くわかりました</li> <li>企業の取り組みべき社会課題解決に多くの気づきを得た</li> <li>世界情勢の現在が垣間見え、日本の未来への期待感が出た</li> <li>万博におけるパナソニックの方向性が理解できた</li> <li>意欲的な取り組みに感銘を受けました</li> <li>何を一番アピールしたいのか、今一つ伝わりづらかった</li> </ul>				
第2部 評価		印象	非常に役に立った	59.7%	非常に役に立った	56.2%	非常に役に立った	49.4%	非常に役に立った	38.8%
		役に立った	37.1%	役に立った	41.1%	役に立った	46.8%	役に立った	56.7%	
		あまり役に立たなかった	1.6%	あまり役に立たなかった	2.7%	あまり役に立たなかった	3.8%	あまり役に立たなかった	4.5%	
		役に立たなかった	1.6%	役に立たなかった	0.0%	役に立たなかった	0.0%	役に立たなかった	0.0%	
		具体的感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常に興味深い内容と、分かりやすい説明、プレゼン手法も素晴らしい</li> <li>日本の政府、企業のやらなければならない事が山積みだという事がよくわかった</li> <li>自分達では全く足りない深い視点からの話が聞けた</li> <li>政治と経済の流れ、根本について、矢嶋さんの見方をわかり易く伺えた</li> <li>経済と経済の流、日本が優位に立つための具体策をもっと深く聞きたかった</li> <li>抽象的で、それでは、日本企業はどうすべきか具体的に類推できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>梅田様の経歴が大変興味深く、多くのバイブを持たれているので非常に勉強になった</li> <li>中国を念頭に置いたベトナムの立ち位置や、技能実習生制度の問題整理ができた</li> <li>現地における課題や来日研修生に対する問題に到るまで詳細な状況の講演</li> <li>地政学、安全保障貿易、歴史的観点からも、ベトナムの重要性が理解できた</li> <li>経済のつながりについては、もう少し詳しくお聞きしたかった</li> <li>人件費が徐々に上がる事になるのでは？何かが起きた場合株式比率が心配？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年世界の金融経済動向の大きな主題に対応できる講演内容と判断だと思う</li> <li>シャドーバンキングの問題は以前からあつたが、今後はそのリスクが顕在化し要注意</li> <li>規制改革の重要性については、興味深い。デジタル化の遅れは若い世代に期待</li> <li>日本人の「生産性」が「悲惨な状況」ではないという分析 &amp; 指摘には、興味を抱いた</li> <li>膨大な資料、時系列を踏まえ数字を交えた事例解説は理解しやすい</li> <li>少し大きなテーマであった。もう少し、身近なトレンドの話もほしかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>信頼できる国の見極めが、日本企業にとっての追い風になるということが印象的</li> <li>3つの視点で「何を」「この国と」「どうやって」としての話は大変分かりやすい</li> <li>立場を十二分に生かして時に逸脱して聴衆へ熱く語りかけられるところに感動</li> <li>豊富な海外経験を踏まえてのお話だったので、具体的に理解できた</li> <li>万博を通じたネットワーキング、万博をいかに活かすことに花開く契機</li> <li>具体的に各企業が動くポイントについては理解し難かった</li> </ul>				
第3部 評価		印象	非常に役に立った	54.9%	非常に役に立った	39.0%	非常に役に立った	62.7%	非常に役に立った	36.7%
		役に立った	41.2%	役に立った	54.2%	役に立った	35.6%	役に立った	59.2%	
		あまり役に立たなかった	3.9%	あまり役に立たなかった	6.8%	あまり役に立たなかった	1.7%	あまり役に立たなかった	4.1%	
		役に立たなかった	0.0%	役に立たなかった	0.0%	役に立たなかった	0.0%	役に立たなかった	0.0%	
		具体的感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>シリコンサイクルから見る景気動向の見方は参考になった</li> <li>今後の日本経済の厳しさは予想通りで、リスクを含め受難と思えた</li> <li>人財エンゲージメントを意識した経営の重要性を改めて気付かされました</li> <li>黒瀬氏のリードが上手い。シリコンサイクルから見る景気動向の見方は参考になった</li> <li>黒瀬さんには、ファンリレーションというよりはもっと分析の様子を語ってほしかった</li> <li>諸情報を得られたが、日本の活路については、収穫できる内容が少なかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナム人の優秀な能力(人材)を活かすのは、受け入れ側の体制が重要</li> <li>海外人材の選好要素が語学より技術・マネジメント力等が優先されるのは参考になる</li> <li>お二人は勿論のこと、司会者も良く現状を理解され、うまくコメントを入手されていた</li> <li>実体験・エピソードが多く、ベトナムへの理解がかなり深まった</li> <li>「日本企業」が「ベトナム」で何に貢献でき、「ベトナム」から逆に何を学ぶべきか？</li> <li>一人ひとりの話しが長く感じ、要点が分かりづらかった。専門用語も多し。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウクライナ問題から日銀トップの交代の話、世界情勢についてなど大変勉強になった</li> <li>一部・二部の内容や日本のリスクがより深く理解できた</li> <li>杉山さんの心強い言葉を聞いて、日本の重要性を感じる事ができました</li> <li>大槻さんの、今後の金利動向、調達は大胆に！が参考になりました</li> <li>関西から世界と日本の良さを再認識できるメールもあり、頑張りたいと思った</li> <li>ファンリテーターの上手な運営で専門家の良さを充分引き出し、内容が濃かった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外バビロンへのサポートもありというのは、貢献として面白く感じました</li> <li>目線や角度の異なるアプローチで様々なテーマをとりあげていただき勉強になった</li> <li>グローバルからグローバルへの取り組み、課題を解決する万博になればと思います</li> <li>それぞれが大阪・関西万博に対する熱い思いを感じることができた</li> <li>講演者の二人の話しを上手くまとめ、また深掘りしてくれたので良かった</li> <li>規制撤廃と規制強化のバランスをとる必要があると感じた</li> </ul>				
本日のセミナーへ 参加しての感想			<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、日本が直面している問題に関する講演ゆえ、大変興味のある内容だった</li> <li>財界面、シンクタンク側よりの分析力には大いに納得出来た</li> <li>半導体の将来観と、それを必要とする世界情勢、近未来の課題をいただき感謝</li> <li>タイムリーな状況をとらえたテーマが多く、大変役に立った。大局観が必要と感じた</li> <li>リアルな会場に来てより理解しやすかった。非常に情報濃度の高いセミナーだと思う</li> <li>今後ともハイブリッドでの開催をお願いします</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事例が多く、文化面・国の成り立ち・歴史を深く理解でき良かった</li> <li>今後ベトナム人材採用を検討していますので、大変参考になりました</li> <li>「投資セミナー」とは一味違う設定ができる財団の活動は素晴らしいです</li> <li>会場・スタッフ・参加者、非常に良かったです。セミナー資料が手元であれば尚良い</li> <li>3時間以内で設定いただけると時間がとりやすいのですが…</li> <li>進出が難しいと考えてしまいました</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際情勢の動向、経済動向のお話しを聞かせて頂いて勉強になりました</li> <li>講師の方の選択が非常にレベルが高いと思います</li> <li>今後重要なキーマンと呼びたい</li> <li>いつもながら、運営面も非常に素晴らしいセミナーであった</li> <li>会場参加の方が集中できる。感染対策もしっかり取られており安心しました</li> <li>オンラインで参加できてよかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の浮揚の為に、万博を成功させる必要があり、大いに期待している</li> <li>毎回、タイムリーな企画で大変有益に感じております</li> <li>構想の固まり度としては、やや時期が早かったのかもとも思いました</li> <li>長時間にもかかわらず最後までいい感じで視聴出来ました</li> <li>広い会場でディスカッションも図られて良かったが、文字が小さく見えないうえに残念</li> <li>会場参加ができて良かった 参加人数も含め、今後拡大してほしい</li> </ul>				

# 第10回環境シンポジウム実施結果

## <開催概要>

開催日	2022年12月9日(金)
時間	13:30~18:00
場所	ウェスティンホテル大阪 4階 花梨
テーマ	「ゴリラとゾウから学ぶ！ ～生物多様性とビジネスのこれから～」
基調講演①	「ゴリラの社会は生物多様性によってどう変動するか？」 総合地球環境学研究所 所長 山極 壽一 氏
基調講演②	「生物多様性と金融～長期投資家からみた期待と課題～」 りそなアセットマネジメント株式会社 執行役員責任投資部担当 松原 稔 氏
事業発表	「ゾウと子どもとカップ麺」 認定NPO法人 ボルネオ保全トラストジャパン 理事 森井 真理子 氏
基調講演③	「地球市民宣言と環境」 サラヤ株式会社 代表取締役社長 更家 悠介 氏
パネルディスカッション	パネリスト:山極 壽一 氏、更家 悠介 氏、松原 稔 氏 コーディネーター:総合地球環境学研究所 教授 阿部 健一 氏(財団 環境事業選考委員長)

## <アンケート結果>

出席者数	60名(会場) / 163回(Live視聴のみ)		本日の環境シンポジウムへ参加しての感想	
回答枚数	35枚(現地) / 8枚(web)			
回答者業種	会社員・団体職員	46.5%	今日のこのシンポジウムに国のリーダーを参加させていくべきだ。人と人との交流、1対1の対話から設備トラブルがあり残念なところはありましたが、意義深い今後の業務に役立つ価値ある場でした。放置竹林を解消しながら安全をつくるサーキュラーエコノミーをつくるアイデアがはっきりしてきた。休憩時間の頻度を少なくして、3時間程度が望ましいと感じた。ビジネスマンに5時間はやや厳しい。パワーポイントのやり取りは大変だと思いました。また、タイムマネジメントも難しいですね。障がい者や在住外国人が理解できるように、アクセシビリティの整備をお願いしたい。すばらしい討論でした。考える大事な機会をいただき、ありがとうございました。今後とも、このような活動への投資や活動紹介を積極的に起こしてほしい。全体的に非常に良いバランスでのプログラムでとても勉強になりました。このような講演会に参加させていただくことができ、ありがとうございました。SDGs問題を再認識できる講演でした。運営面もすばらしく良かった。地球環境問題に関し、再度考えられる諸々の講演だった。考える大事な機会をいただき、ありがとうございました。WEBでの活動報告も大切だとあらためて思いました。資料の字が小さくて読めないところがありました。話題豊富な回だったと思います。	
	自営業・自由業	18.6%		
	会社・団体役員	14.0%		
	無職	4.7%		
	学生	4.7%		
	公務員	4.7%		
	学校関係者	2.3%		
	専業主婦(夫)	0.0%		
その他	4.7%			
(1) 基調講演①(山極氏) 評価			(2) 基調講演②(松原氏) 評価	
非常に役に立った	59.5%	非常に役に立った	26.8%	
役に立った	40.5%	役に立った	56.1%	
あまり役に立たなかった	0.0%	あまり役に立たなかった	17.1%	
役に立たなかった	0.0%	役に立たなかった	0.0%	
<主な具体的意見>		<主な具体的意見>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境の変化がゴリラの群れに与えた影響、特に子殺しに至るとは全く考えの及ばないことであった</li> <li>高地と低地に住むゴリラの生態の違いが、食生活によるもの、ひいては生物多様性の差によることわかった</li> <li>動物園でも野生でも、ゴリラの数は減ってきていると思う。自分にできる自然保護を行ってほしい</li> <li>マウンテンゴリラ、ローランドゴリラの生活行動の違いが、今後の環境問題の問題提起とヒントになる</li> <li>動物の進化が植物の進化に影響を受け、植物の多様性が動物社会の安定を保っていると感じた</li> <li>大変貴重なお話をありがとうございました。特に写真がたくさんあってとてもわかりやすかったです</li> <li>ゴリラの自然との対応について理解できたし、その世界に人間が入っていくとどうなるか考えさせられた</li> <li>なまみの無い領域(歴史・生態・種)のことについて知見を得られた。また、熱帯雨林地帯のことを知れた</li> <li>学問的・科学的にゴリラの話は聞くの初めでした。興味深く聞かせていただき、役に立つ話でした</li> <li>本能から生まれる行動パターンと進化を理解できた。人間社会を理解する上でも共通している</li> <li>本来の人間社会の縮図をゴリラの例で分かりやすく説明いただき感謝している</li> <li>生物多様性と暮らしの豊かさがゴリラの世界でも裏証されていて面白かった</li> <li>生態系や生物の連鎖をアカデミックかつわかりやすく説明してくれた</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>経済発展をするには、自然資源の持続を考慮することが必然で、そのあと押しに金融からのアプローチが投資という形であることがよく理解できた</li> <li>SDGs投資というCo2削減に目が行きがちだが、生物多様性を含め様々な視点が必要だと理解できた</li> <li>多様性と金融というチャレンジングなテーマでお話しいただいたことは大変素晴らしい</li> <li>勉強不足でこちらの理解が浅いつきませんが、今後興味を持って勉強していきたいと思う</li> <li>世界の投資家が熱帯雨林の保護に関心を寄せていることを知り驚きました</li> <li>自然資源から自然資本というパラダイムシフトの考え方がよくわかった</li> <li>パーム油対策問題・海洋プラスチック問題に対する回答の一つのヒントがあったと考える</li> <li>企業の姿勢の変化が大切。儲けだけではいけない価値が大切であり普通になってきている</li> <li>金融の観点から生物多様性についての話しが面白かった</li> <li>本場に「資本」は増やし、「資源」は消費するものなのか、「資源」を増やすことも模索すべきではないか</li> <li>説明したいことは理解できるが、個々のアイテムが散発過ぎていて繋がりが欲しかった</li> <li>もう少し「SDGs」や「SX」に絞って欲しかった</li> </ul>		
(3) 事業発表(森井氏) 評価			(4) 基調講演③(更家氏) 評価	
非常に役に立った	31.6%	非常に役に立った	60.5%	
役に立った	60.5%	役に立った	36.8%	
あまり役に立たなかった	5.3%	あまり役に立たなかった	2.6%	
役に立たなかった	2.6%	役に立たなかった	0.0%	
<主な具体的意見>		<主な具体的意見>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林破壊問題は現在の課題だが、パーム油問題も含め対話型環境教育をされていることに賛同した</li> <li>子どもたちが生きていくのことやパーム油のことを学んでいることに大変嬉しく思いました</li> <li>異なる国の子どもたちが環境について、見て・考え・行動するのは未来につながると思い感動した</li> <li>生産国と消費国の子どもたちが同時に体験を共有するというすばらしい取り組みを知り、感動しました</li> <li>マレーシアと日本の子どもたちの動物への視線・視点が異なることがわかり、たいへん興味を持ちました</li> <li>IoTが活かされたとてもいい事例で、これからは増えてほしいです</li> <li>IoTを使った双方向の教育体制やキリストのつくりは学びになった。頑張っていたに違いない</li> <li>パーム油問題等の環境問題に関し、対話型環境教育をされていることに感動した</li> <li>パーム油がこれほど多く使われ身近なものというところを知った</li> <li>ゾウのいる地域とない地域の子どもの感じ方が面白かった</li> <li>NGOの立場からみた生物多様性の話しは貴重</li> <li>ビジネスとの関係は上手くかばなかった</li> <li>ボルネオの実態が初めて理解できたが、具体的に何をすれば良いかが不明</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>万博を超えてSDGsゴールを見据えていたビジョンは魅力的</li> <li>アジアやアフリカにおけるラビッドフリーザの有用性の話も聞きたかった</li> <li>プラスチックと海洋汚染をSDGsの観点より問題提起されており、私も問題視している課題ゆえ共有できた</li> <li>非常に多角的な話で、今後の万博やサラヤさん自身の活動について大いに期待が膨らみました</li> <li>サラヤのSDGs等の取り組みのすごさに圧倒されて先端を走る企業が現存することを知り得た</li> <li>ビジネスの立場からでも地球規模の価値基準で発想しておられることに感銘を受けました</li> <li>企業のお話し中心ではなく、ご自身のお考えをお話しされていて良かった</li> <li>話の一流の流れが非常にロカルでありつつ、現実的な話で素晴らしい</li> <li>環境と経済、直前に学び、今後何をすべきか、今一度学びたい</li> <li>海洋ゴミには興味があり、魚よりもゴミの方が増えるという話を聞きました</li> <li>経済価値と社会価値の創出を両立させる重要性を理解した</li> <li>SDGsに関わるお話しが聞け、話の流れも面白かった</li> <li>久しぶりに「アダム スミス」のお話しを聞きました</li> </ul>		
(5) パネルディスカッション 評価				
非常に役に立った	73.3%			
役に立った	26.7%			
あまり役に立たなかった	0.0%			
役に立たなかった	0.0%			
<主な具体的意見>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれ異なる立場のお三方が同一テーマで話され、今後の地球を守るためには何が…という認識を改めて考えさせられました。日本が世界をリードできる哲学を持つべきかと思いました</li> <li>主題のゾウとゴリラから話がどんどん飛躍してワクワクするセッションだと思いました。更家社長のご講演は以前からも拝聴しておりますが、留まることのない期待感でいっぱいでした</li> <li>欧米は実業は自給自足が可能、日中は今や人口を養えるだけの食糧が確保できなくなった。今後のあり方、自分の関わるビジネスの長期ビジョンを考える一つの方向性が見えた</li> <li>立ち位置のことなど人々が、ひとつの方向に目を向け、これからのあるべき姿について議論することは大きな意義がある。「新しい価値」を築く時代なのか</li> <li>研究者の視点の方×金融一筋の方×大阪を代表するビジネスリーダーの方が本音でディスカッションする場に臨めて、大変刺激的な時間でした</li> <li>すばらしい議論でした。松原さんからこの企業がなくなったら困る感じが、これからの価値ではないかという提言が出たのが最も印象的でした</li> <li>全ての話しをまとめるのは難しい。それぞれの考え方や意見が違う事で、新たな知恵が生まれる気がした</li> </ul>				

2023年度 アジア・オセアニア研究助成一覧表

調査研究助成

《個人研究》

研究課題	研究者	研究者所属	助成額(万円)
1960年代における中華民国政府の対日経済外交 —国府外交の台湾化に関する再検証—	もり たくみ 森 巧	一橋大学大学院 社会学研究科 特任講師(ジュニアフェロー)	100
排除のダイナミクス —1980年代におけるインドの政党とマイノリティ	おかやま せいこ 岡山 誠子	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS)博士課程	100
1960年代以来インドネシアにおける解放の神学と 華人神学の伝統の生成に関する人類学的研究	おう さくぞう 王 作造	京都大学大学院 文学研究科 博士後期課程	100
戦後日本社会の国民再編成過程における「引揚者」の 主体形成のポリティクス—満洲からの「引揚者」を中心に—	りゅう こう 劉 コウ	名古屋大学 人文学研究科 博士後期課程	40
無形文化の複層的資源化: タイ北部リスの舞踊にみる持続的開発の戦略	うちずみ てつを 内住 哲生	東京都立大学大学院 人文科学研究科 博士後期課程	68
現代イースター島社会における ラバ・スイ文化の尊厳に関する民族誌的研究	うちお たいち 内尾 太一	静岡文化芸術大学 文化政策学部 准教授	50
帝国日本の植民地社会事業政策 —植民地朝鮮における感化事業の運営に着目して—	のすびん 魯 洙彬	東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程	70
「対立を避ける思考」 —インド・シッキム州における宗教的混淆の社会人類学的研究	やまぎし てつや 山岸 哲也	東京都立大学大学院 人文科学研究科 社会人類学分野 博士後期課程	100
カンボジアにおける中国企業の農地取得によるキャッサバ生産活動が 現地農村社会に与えたインパクトに関する調査研究	りゅう たくぶん 劉 澤文	九州大学大学院経済学府 博士後期課程	100
カンボジア初期上座部仏教寺院の成立 —中世カンボジアにおける「上座部仏教国」化の過程と実態—	しもだ まりこ 下田 麻里子	早稲田大学文学研究科 博士後期課程	75
エネルギー資源をめぐる日中関係史 —上海と漢口における石炭貿易を中心に(1840～1937)	ちよう くん 張 珺	東京大学 人文社会系研究科 博士課程	45
中国における育児と介護のダブルケアの 現状と支援実態に関する調査研究	まん りんせい 万 琳静	西安交通大学 公共政策・管理学部 社会保障学科 助理教授	100
内モンゴルにおけるチベット仏教の伝統と変容 —転生ラマの認定をめぐる政治人類学的研究	うにるさいはん WUNIERSAIHAN	滋賀県立大学 人間文化研究科 地域文化学専攻 博士前期課程	80
フランス領インドシナの遺跡保存とツーリズム:アンコール遺跡群の 保存理念生成史と周辺地域ジェムリアップの形成史	くろいわ ちひろ 黒岩 千尋	国立文化財機構 東京文化財研究所 アソシエイトフェロー	80
中国近代法の継承をめぐる戦後中国・台湾の動向	くぼまりこ 久保 茉莉子	埼玉大学大学院 人文社会科学研究科 准教授	100
民国期、北平における仏教革新運動 —仏教と社会との関係に着目して	カウ 何 雨	筑波大学 人文社会科学研究科 歴史人類学専攻一貫制博士課程5年	87
ヒンドゥー教美術における複合図像:古代・中世北インドに おける「あらゆる姿を持つ」ヴィシュヌ神像を中心に	おおき まい 大木 舞	京都大学大学院 文学研究科博士後期課程 日本学術振興会特別研究員DC1	100
9、10世紀東アジア国際貿易と南海貿易の関連性と政治的影響 —海事考古学と文献史学の成果を中心に—	しんかい さきこ 新飼 早樹子	ソウル大学校 人文大学国史学科 博士課程修了研究生	91
メコン川中流域の先史時代の農耕 —考古植物学の方法—	シントン ソムマーイ SINGTHONG Sommay	熊本大学 社会文化科学教育部 博士後期課程	100
ベトナム戦争下の北ベトナムの実態に関するメディア史的考察 —日本電波ニュース社のフィルム映像を中心に	しゅ しき 朱 子奇	東京大学大学院 学際情報学府 博士課程	58
ブギス・マカッサル人の移動誌からみる 現代インドネシアにおける海域ネットワークの動態	みょうじょう つきこ 明星 つきこ	金沢大学大学院 人間社会環境研究科 博士後期課程3年	100
中部ジャワの影絵人形芝居ワヤン・クリンにおける 女性ダランの活動の実態と上演の特徴	きし みさき 岸 美咲	総合研究大学院大学 文化科学研究科 比較文化学専攻博士後期課程1年	100

《共同研究》

研究課題	研究者	研究者所属	助成額(万円)
東アジアにおける米軍基地の連関・ 周辺都市形成に関する学際的研究	なりた ちひろ 成田 千尋	立命館大学 衣笠総合研究機構 助教	150
メコン川下流デルタにおける古代の環境と社会生活の復元 :ベトナム南部・オケオ文化の集落址・ニンタン遺跡の調査	グエン・ホアン・バク・リン NGUYEN Hoang Bach Linh	金沢大学大学院 人間社会環境研究科 博士課程	85

助成金合計  
24件 2,079万円  
(2023年3月助成実施)

## 2023年度 アジア・オセアニア研究助成一覧表

### 国際学術交流助成

研究課題	研究者	研究者所属	助成額(万円)
国際シンポジウム「台湾出兵から150年 交錯する日台の視座」(仮)	のじま つよし 野嶋 剛	大東文化大学社会学部 教授 社会学研究 所長	120
国際会議: Religious and Theological Responses to Environmental Disaster in Asian History	モリス・ジェームズ・ ハリー James Harry MORRIS	早稲田大学高等研究所 講師	200

助成金合計  
2件 320万円  
(2023年3月助成実施)

### 出版助成

研究課題	研究者	研究者所属	助成額(万円)
『ネパール大地震の民族誌—災害に対応するローカルな共同体』	いとうさなえ 伊東さなえ	日本学術振興会特別研究員(RPD) / 京都大学大学院アジア・アフリカ 地域研究研究科	100
都市化の中国政治—土地取引の展開と多元化する社会—	てい こうえん 鄭黄燕	東京大学 法学政治学研究科 附属ビジネスロー・ 比較法政研究センター・特任研究員	120
派閥の中国政治—毛沢東から習近平まで—	りこう 李昊	神戸大学大学院国際文化学研究科 講師	120
中国農村での環境共生型新産業の創出	きくち ますみ 菊池 真純	東京大学大学総合教育センター 特任准教授	90
『国家を補完するガバナンス—ラオス女性同盟の役割—』	さとう あつお 佐藤 敦郎	九州大学大学院比較社会文化研究院 教授	120
中国開発学序説—非西洋社会における学知の特徴と可能性	おう まきうん 汪 牧耘	東京大学東洋文化研究所 特任研究員	120

助成金合計  
6件 670万円  
(2023年3月助成実施)

## 2023年度りそな環境助成 一覧表

活動題目（企画名）	申請者	研究者所属	助成額(万円)
動物を通じて次世代の子どもたちと考えるボルネオの自然環境問題 ～マレーシアと日本の子どもたちの対話型遠隔教育～	もりい まりこ 森井 真理子	認定NPO法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン 理事	100
インドネシア・南スラウェシのエビ養殖地域における 住民主体の環境保全活動モデルの構築	のがわ みお 野川 未央	特定非営利活動法人APLA 事務局長、理事	100
持続可能な里山地域づくりに向け、バイオガスプラント設置による有機肥料 生産から動物糞の適用利用システムと、ゴミ分別によるゴミのリサイクル システム導入から資源循環をめざした地域環境システム形成活動	あつた のりこ 熱田 典子	公益社団法人アジア協会アジア友の会 副事務局長	100
交流を通じて自走するカンボジア・東ティモールの持続的な環境教育	しもだ ともりのり 下田 寛典	合同会社PLC 代表社員	100
カンボジアにおける資源循環型農業の確立を ベースとした教育支援システムの構築 ー自立できる農家の育成と学校菜園の開設による次世代の教育ー	こせき みなこ 小関 皆乎	「藪の傍」代表	100
バリ島と徳之島・佐渡島の子どもたちのまなびあい ～自然と共生する持続可能な地域づくりに向けた環境学習～	やまだ りえ 山田 理恵	一般社団法人あいあいネット 理事	100
フィリピン・ルソン島北部山岳地方における 環境教育教材としての民話絵本とラジオドラマ制作	そりまち まりこ 反町 真理子	Cordillera Green Network Inc. Advisor	100
ミャンマー・山岳少数民族地域における 若者発信での「分別でゴミを資源に」推進事業	しばた きょうこ 柴田 京子	特定非営利活動法人 地球市民の会 ミャンマー／プロジェクトマネージャー	92
ラオス・シェンクアン県の教育施設における 有機農業の実践と環境学習の推進	いむら ひろし 飯村 浩	認定NPO法人テラ・ルネッサンス 海外事業部ラオス事業 プロジェクトマネージャー	100
ネパールにおけるIoTセンサシステムを活用した レッサーパンダ生息地の環境保全、ならびに環境教育の推進	とみさわ かなこ 富澤 奏子	大牟田市動物園 企画広報担当	100
フィジー野球・ソフトボール協会による植林・地域環境 保全活動を通じた環境教育と気候変動対策の推進 ～スポーツを通じた環境意識向上と人材育成の実践～	すずき かずのぶ 鈴木 和信	日本大学 国際関係学部 教授	100

助成金合計  
11件 1,092万円  
(2023年3月助成実施)

## 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項は無い。